

山形新聞 少年少女の声（6月25日より）



スポーツが愛される訳

2年 佐藤 陽太

スポーツが人々に愛される理由、それは、人々にいろいろなことを教えてくれて、人々にいろいろなことを考えさせてくれるからだと思います。喜びや悲しみ、くやしきや感動などさまざまなことを私たちに教えてくれます。スポーツの終わりはどこか、人間の価値とは何かなど。スポーツは人々を喜ばせ、人々を努力させ、人々を幸せにしてくれます。

どんなに小さな子どもでも、どんなに年をとった老人でも、たとえ体に障害があったとしても、みんなが本気で楽しむことができます。対象年齢も条件や資格もありません。年の離れた人、言葉の通じない人がつながることができる数少ないものの1つかもしれません。

最後に選手たちは必ず握手をしたり、ハグをし合ったりします。それは互いをリスペクトし合っている証拠です。相手を敬う気持ちまで教えてくれるスポーツは、まるで魔法のようだと思います。このように、スポーツをリスペクトする気持ちを、道徳の授業で学びました。



選手、観客 一緒に頑張る

1年 齋藤 悠希

全校道徳の授業で、スポーツが人々に愛される理由について考えました。ぼくはこれまでサッカーを約6年間、習い事でしてきました。今までの自分の経験と授業の話し合いから、スポーツが人々に愛されるのには2つの理由があると思いました。

1つ目の理由は、選手がたくさん努力していることだと思います。スポーツ選手は、大会までに誰も見ていないところでたくさん練習しています。これまでの自分のプレーを見て振り返り、自分の苦手なところをたくさん練習しています。また、仲間と話し合いをしてチームワークを高めたり、お互いの足りない点を教え合ったりしています。そして、これまでの練習の成果を大会で出すことによって、その場にいる皆が感動することができるのだと思います。

2つ目は、観客全員が1つとなって喜び合うことができるからです。大会で、どれだけ弱くても全力で必死になって戦えば観客は応援してくれます。そして、試合に勝った時は、全員で喜んでくれます。もし負けたとしても、一緒に悔しがってくれるはずです。選手は応援によって力が出るし、観客はその姿を見て全員で応援をがんばってくれます。

スポーツ選手と観客が一緒になってがんばることができるものなので、世界中の人々から愛されるのだと思いました。

